

2. 三

一般のには三者とも大半意識が強く従って一旦
やりかけた仕事はなかなかあつても放り出すことはない。
又工事界独特の気風から多少の損はあつても仕事
は受けるにふさわしい事は運命において三者とも相当の
覚悟がある。但しこれは次の仕事に切りかゝるためである。
バツ4の布石であることが多く一面東京即ち八
木の問題を起す様な気風は充分ある訳である。
諸君に際しては建設業者の総額を替へれば
多くあるからこの三者は来年より立替建設は国に
命令せられ、これは昨今の全額り又業界防
衛の立場からの策にある。但し金額が10億以
上であれば条件により立替建設を行う内意はある。
三者とも際立った相違は無いが性格としては
大成は最も近代経営主義に徹しており役員も
他の三者とは全く異なる大成一般社員も技術者で
あり他人の支持は無いという一独裁会社とい

あり当然、一階村に於ける利益配当の義の感か
あると、先づ村の事という心配は無いと云える。
諸君は同族会に於ける縦断は何か海外に出
技術、外に出るの経営方針と意識的の事につ
いて連中であり利益追求本能は極めて強い。

以上はその受取順何にも理の上記は
利の如き事と云う民間大衆の随望を主として
鹿島は従前から進付の気風が残りし
縦断は徹底的に同族を以て先から大抵主は
会長一人、鹿島一承の風が強く、予助の政
界より^{と云ふ}に^{と云ふ}関係するところからその宣伝にも金組組
織を利する事と云う。従って受取は官庁同
族のその半分と云う。利益率の少く農林建
設の利益が少くを敢て争っていることからその
利の順何はうかぬ。

これ 大成はよく請け、完成前に増産の
申請をする、諸君は現在手探が多すぎ技術の

行きわたらぬ。度計は下流等流に半形を有せ
るし、しかも適切な材料の乏しい故に河も
ある。

10 折増25% (10p)
10 折増10% (10p)

資本	30億	40	40
評価順位	1	2	3
業種	(24年2期) 510	425	479
	(35年) 515	484	478
	(35年増) 21	24	20

3年実績

売上	332
利益	293
純益	450

技術 建築、土木、設備工事
但現在維持費大々々々
技術陣に過重荷
建築 7割
土木建築と半々
長所は他と格差が
ない材料におきかた

代表的社 伊豆川
新井川
五ヶ所
大井町ビル
伊豆川口建設局
建設者 合同元受
農林省 山王海ビル
大井町ビル

役員構成 清水一孝社長
但し技術屋
高級
大井町ビル
サリマル木身
換行ヤ
鹿島一孝社長
特に同族会社
100%出資
会長、社長共に非技術

大株主 清水一孝
代田海上大建 代田合
池、株式会社
鹿島一孝

取引先銀行 興銀 銀銀 三和
北海道信託
富士銀 札幌 三井
支店 東海
三井 三菱 住友 第一

職員 3,229
給与 良し
2,905人
良し
3,820
悪し

清 水 大 成

鹿 島

方針

金杯第一主義

同 左

(会長の意向)
箱 黒 色

気 風

近代的

三者共に大々意識を強め

封建的
社外に金銭導入
(株式会社)

受注先

民間 7割

全 左

官民 半々

下請けに対する
支払方法

現金

現金

リポートと出資協同

現金 金銀の
年形 10%
他切る協同

得意先に対する
他

仕事に対する責任
金杯より検査厳重

安く請負い
最後に嘆息金と
なる方法を良く行う

官民が比較的多
の金に株式で

創業

文政元年

明治6年
(大倉組)

天保11年

社長

清水 康雄
~~中 大 東 洋~~
早田 政経
(米口船主等)

加藤 一雄
攻玉社高工

会長 鹿島組功
東大強